

競 技 注 意 事 項

1. 本大会は2023年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会申し合わせ事項により行う。
2022年1月1日にWA競技規則TR5の改正と、新たな「競技用靴に関する規程」に基づき、靴底の厚さのチェックは実施しない。ただし、審判長及び競技役員はいつでもシューズチェックすることができ、競技者はその指示に従わなければならない。明らかに規則・規程違反のシューズや疑わしいシューズはチェックや回収の対象になる。競技後にシューズの違反が認められた場合は審判長が「失格」と判断し、記録が取り消される場合がある。(スパイクピンのチェックは招集時に行う。)

靴底の厚さに関する規程(TR5.2) 表

種 目	靴底最大の厚さ TR5.5、TR5.2	要 件 ・ 備 考
フィールド競技 (除：三段跳)	20mm	投てき種目と三段跳を除く跳躍種目に適用する。 全フィールド種目で、靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。
三段跳	25mm	靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。
トラック種目 (ハードル種目を含み、800m未満の種目)	20mm	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。
トラック種目 (障害物競走を含み、800m以上の種目)	25mm	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。 (競技場内で行う競歩競技の靴底の最大の厚さは40mm)
競技場内で行う競歩	40mm	
道路競技(競走・競歩)	40mm	

なお、本記録会は全フィールド種目で「靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない」の規程を適用除外する。

2. 競技場への入場について

正面スタンド1F及び2F入口を開放する。入場証は不要とするが各校顧問が入場者の把握に努めることとする。観戦は学校関係者のみとし、入場時や観戦中に各校との関係について確認を取ることがある。

3. 練習について

- (1) 練習はバックスタンド後方(東側)の練習走路を使用すること。走る方向は北から南の一方通行とし、逆走は禁止する。個人のハードル等は持ち込まないこと。また、ゴムチューブ等を使ったスピード練習は禁止する
- (2) 競技場内での練習は、競技開始の30分前までとする。ジョグはレーン外を使用し、1~2レーンは長距離ペース走用とする。その他のレーンについては下記のとおり。

【1日目】

[ホームストレート]

3~7レーン：直線からのスプリント練習、8レーン：100mH、9レーン：110mH

[バックストレート]

3~6レーン：コーナーからのスプリント練習、7~9レーン：直線からのスプリント練習

※リレーバトン練習は1→2走・3→4走は第2コーナー、2→3走は第3コーナーで行うこと。各校で使用したリレーのマーク(テープ)は必ず取り除くこと。

【2日目】

[ホームストレート]

3~6レーン：コーナーからのスプリント練習、7~8レーン：直線からのスプリント練習、
9レーン：110mH

[バックストレート]

3~7レーン：リレー練習、8レーン：女400mH、9レーン：男400mH

- (3) メディシンボールなど、物を投げる練習は、競技場内を問わず長居公園内全体で禁止とする。
- (4) 投擲・跳躍競技は準備が整った後、競技役員の指示で練習してもよい。

4. 招集について

- (1) 招集所は室内練習場に設ける。招集所への携帯電話・スマートフォン・タブレット等の通信・録画機器（タブレット等）の持ち込みは禁止する。スマートウォッチ等も通信機能を停止しておくこと。
- (2) 一次招集（招集所）
 - ・トラック種目：競技開始時刻の 60 分前開始 30 分前完了
 - ・フィールド種目：競技開始時刻の 90 分前開始 60 分前完了（棒高跳は 120 分前開始 90 分前完了）
 - ・上半身競技服装（アスリートビブスをつけていること）になり、競技で使用する靴のチェックを受け、トラック競技では腰ナンバーカードを受け取る。・種目ごと・ラウンドごとに一次招集を受けること。
- (3) 二次招集（現地）
 - ・トラック種目：競技開始時刻の 15 分前開始 10 分前完了
 - ・フィールド種目：競技開始時刻の 50 分前開始 40 分前完了（棒高跳のみ 70 分前開始 60 分前完了）
- (4) 一次招集および二次招集に遅れた競技者は、出場する意思がないものとみなし欠場と処理する。
- (5) 点呼の代理は認めない。ただし、同じ時間帯に競技が行われる可能性がある場合には、第 1 種目の一次招集開始までに「多種目同時出場届」を持参し必ず提出すること。なお、第 1 種目は一次招集を受けなければならないが、提出をした第 2 種目は、一次招集および二次招集とも代理をたてる必要はない。ただし、ラウンド進出により同じ時間帯に競技が行われる可能性が発生した場合には、すみやかに多種目同時出場届を招集所へ必ず提出すること。
- (6) リレー競技について
 - ・オーダー用紙はプログラム巻末の所定の用紙を使用し、各ラウンドの第 1 組の一次招集完了時刻の 60 分前までに招集所に提出すること。
 - ・一次招集時は 4 人揃って受け、他種目に出場している時は、「多種目同時出場届」を提出すること。
- (7) やむを得ず欠場する場合は、「欠場届」を一次招集開始時刻までに招集所へ必ず提出すること。

5. 競技について

- (1) アスリートビブスは必ず胸部と背部につけること。ただし、跳躍競技は胸部または背部だけでよい。トラック種目では、腰ナンバーカードをパンツの右側やや後方に付けること。なお、4x400m リレーの第 2・第 3 走者は、次走者の待機順を明確にするため、右側に腰ナンバーカードをつけること。
- (2) スパイクのピンは、本数は 11 本以内とし、9mm 以下の全天候競技場用のものを使用すること。ただし、走高跳・やり投については 12mm 以下とする。また、スパイクの直径は先端近く（少なくとも長さの半分）で、4mm 四方の定規に適合するように作られていなければならない。
- (3) トラック種目では、すべてタイムレースとするが、100m・200m は決勝レースを行う。
- (4) トラック競技でフィニッシュした競技者は本部前を通らず、競技場内のバックスタンド前を通ってスタート地点に帰ること。
- (5) 競技エリア内に通信機器（携帯電話等）やビデオ撮影機器（タブレット等）を持ち込んではいならない。また、競技エリア内で助力を与えたり受けたりしている競技者は失格の対象となる。フィールド競技中に競技者が、それ以前の試技の映像を、録画再生機器などをスタンドからの手渡しや吊り下げる等により競技エリア内に持ち込むことは認めない。
- (6) 正面スタンドでの集団声援（応援）及び不正な助言行動は自粛すること。
- (7) フィールド種目について
 - ① トップ 8 を行う。
 - ② 跳躍種目はセレクションラインを設ける（但し走幅跳・三段跳は、1 回は全員計測）。
走高跳【男子】 1m50 【女子】 1m25 走幅跳【男子】 5m20 【女子】 4m20
三段跳【男子】 11m00 【女子】 9m00
 - ③ 走幅跳・三段跳は 1 組（メインスタンド前トラック側）、2 組（メインスタンド側）、走幅跳 3 組は（バックスタンド側）で行う。走高跳は第一曲走路内側、棒高跳は第二曲走路外側の北ピットで行う。
 - ④ バーの上げ方は下記のとおりとする。※走高跳・棒高跳ともに練習の高さは当日現地で決定する。

男 走高跳	現場判断	練	1m50	1m55	1m60	1m65	1m70	1m75	1m80	以降 3cm
女 走高跳	現場判断	練	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	1m50	以降 3cm	
男 棒高跳	現場判断	練	2m80	3m00	3m20	3m40	3m60	3m80	4m00	以降 10cm
女 棒高跳	現場判断	練	2m10	以降 10cm						

- ⑤ 砲丸投を除き、投てき種目の計測は、ベスト記録のみを計測する。
- ⑥ 投てき競技や棒高跳びの滑り止めについては、主催者は準備しないので、個人で持参すること。

(8) フィールド競技の試技制限時間（単独種目）

残っている競技者数	走高跳	棒高跳	その他
4人以上	1分	1分	1分
2～3人	1分30秒	2分	1分
1人	3分	5分	—
連続試技※	2分	3分	2分

※4人以上または各競技者の最初の競技

※走高跳・棒高跳では、残っている競技者が二人以上で、同一の高さの時のみ適用する。

(9) 長距離種目について

- ①胸・背に別アスリートビブスを使用する場合がある。
- ②グループスタートを行う場合がある。グループ分けは出発係の指示に従うこと。
- ③3000mSCの第1ハードルの位置が、2周目以降移動するので注意すること。
- ④ラスト1周で5000mでは19分、3000mでは14分、3000mSCでは12分、5000mWでは33分、女子5000mWは37分を超える選手は、競技を打ち切り次の周回には入れない。

6. やり以外の競技用具は、競技場備え付けのものを使用する。やりの検定は、競技開始時刻の90分前より30分間、用器具庫（メインスタンド下南側）で行う。

7. 競技場の使用について

- (1) 横断幕・ノボリの設置は南北の芝スタンド(土盛スタンド)後方およびバックスタンド後方のみとする。
- (2) 以下の箇所にはテントを設置しないこと。
 - ①南北の芝スタンド（土盛スタンド）の中段より下
 - ②メインスタンド中段通路より下側および記者席からフィニッシュ側すべてのエリア※テントを設置する際に、ロープ等が通路にかからないようにすること。
- (3) メインスタンド記者席は座って観戦してもよいが、占有（場所取り）は禁止とする。
- (4) 使用した場所は各学校で責任を持って清掃し、ゴミ等は必ず持ち帰ること。
- (5) トラック、フィールドおよび練習走路以外でのスパイクの着用は禁止する。
- (6) 更衣室は競技者の更衣のみの利用とし、短時間で済ませシャワーは禁止とする。更衣室内ではマスク着用を推奨とし会話は控え、清潔に使用し私物を置かないこと。

8. 免責事項について

- (1) 競技中に生じた事故については、応急処置の他一切の責任を負わない。
- (2) 競技会に関わる全ての人の感染に対するいかなる責任も負わない。
- (3) Jアラート警報が発令された場合は、競技を中断する場合がある。

9. その他

- (1) 顧問の受付がない学校の競技者の出場は認めない。
- (2) プログラムの配布冊数は参加人数より決める。冊数は別頁に記載してある。
- (3) 記録は、電光掲示板およびWEB ページで確認すること。（記録ボードは設置しない。）
- (4) 撮影は許可証（正面入口横にて発行）を必要とし、当該生徒のみの撮影とする。
- (5) 混雑する場所ではマスク着用を推奨する。
- (6) 声を出して応援するときは、前後の間隔に配慮すること。
- (7) 盗難が発生しているため貴重品等の持ち物の管理は各校・各自で注意すること。
- (8) 当日はゴミ箱を撤去しているので、ゴミはすべて各自持ち帰ること。
- (9) プログラム記載の個人情報（氏名、学校名など）大会結果は、大阪陸上競技協会のWEB サイト（大阪高体連陸上競技専門部3・4地区）に記載されるが、本大会関係以外には一切使用しません。

中央大会への出場等について

1. 中央大会への出場制限

- (1) いかなる事情があっても、この地区予選会にエントリーしない者は中央大会に出場できない。
※シード権は、葦音記載の各種目昨年度ランキング 8 位以内（女子棒高跳・女子三段跳・女子ハンマー投・競歩・混成競技は 6 位以内）の者に与えられ、シード権を有する種目にエントリーした選手は、この地区予選会に出場せずに中央大会に進出できる（参加料は顧問まで返金する）。
ただし、エントリー時点で、シード権の放棄を申し出た者は、この地区予選会に出場できる。
- (2) 各種目（リレー・競歩・混成競技を除く）、3・4 地区を合わせて記録上位者 24 名以内とシード権を持つ者が中央大会に出場できる。但し、次の①～④の種目においては、規定に従って中央大会に出場できる。
 - ① 100m・200m は、予選各組 1 着と記録上位者合わせて 48 名で決勝レース（6 組×8 人）を行い、各組 4 着までの計 24 名を選出する。
 - ② 混成競技は、4 つの地区全体の結果を合計し、得点上位者 16 名とシード選手が中央大会に出場できる。
 - ③ 競歩種目は、4 つの地区全体の結果を合計し、記録上位者とシード選手の合計 30 名が中央大会に出場できる。
 - ④ 女子棒高跳・女子三段跳・女子ハンマー投は 3・4 地区を合わせて記録上位 16 名とシード選手が中央大会に出場できる。
 - ⑤ 4×100mR はエントリーした全チームが出場できる。4×400mR は 3・4 地区合わせて記録上位 32 チーム以内とする。
- (3) エントリー人数（チーム）が、地区の最大枠 24 名・16 名（32 チーム）に満たなかった場合は、予選会の記録・欠場・コール漏れ・失格などに関わらず中央大会の出場権を取得する。よって、中央大会出場を辞退する場合は、下記の辞退手続きと同様に各地区主任へ申し出ること。その場合は、25 位・17 位（33 チーム）以下から繰り上げ出場となる。なお、全体で 48 名になるように他の地区から不足人数を選出することもある。

2. 同記録が出た場合

- (1) トラック種目については、規則第 167 条に従い、1/1000 秒の単位で判定する。それでも着順が判定できないときは、抽選により中央大会出場者を決定する。
- (2) 走幅跳、三段跳、砲丸投、については、セカンド、サード記録で決定する。
- (3) 円盤投、ハンマー投、やり投、走高跳については、抽選により中央大会出場者を決定する。

3. 中央大会出場の辞退

- (1) 出場権獲得者で、中央大会出場を辞退する場合は、必ず辞退届を各地区主任へ提出すること。
- (2) 提出期限は地区大会期間中とする（2 日目全競技終了時刻から 30 分後を締め切りとする）。
- (3) リレー種目のエントリーメンバーを変更する場合は、大会中に、リレー票を本部に提出すること。

4. 申込方法

- (1) 出場校は、中央大会出場決定の旨を地区主任より通知を受けた後、「参加選手一覧表（学校長認知書）」を作成し、中央大会当日の学校受付時に提出すること。
- (2) 参加料は 1 人につきプログラム代 500 円（出場者全員責任購入）と 1 種目出場ごとに 500 円とする。
なお、混成競技・リレーは 1000 円とする。納入方法は指定された振込用紙で事前に振込むこととする。
- (3) 地区予選会の期間中に辞退の申し出が無く、それ以降に、何らかの理由で中央大会に出場できない場合も、参加料・プログラム代は支払わなくてはならない。